

活動団体名 「千葉県立君津青葉高等学校 森クラブ同好会」



創立は大正6年、平成11年に千葉県立君津農林高等学校から千葉県立君津青葉高等学校と校名変更した。長らく地域の農業・林業関係の後継者を育成し、地域産業の振興に貢献してきた。

校名変更とともに、総合学科が新設され林業科などが募集停止となった。しかし、現在でも林業科の流れをくむ食と環境系列「環境系」の生徒（2年生20名、3年生13名）らが、県内で唯一林業（森林科学や林産加工など）のことを学び、愛宕、一念坊、梅ヶ瀬の3つの演習林（合計56.4ha）を保全管理するための実習に取り組んでいる。

森クラブ同好会は校内の部活動のひとつである。メンバーのほとんどが環境系の生徒で、放課後や休日等を利用して活動している。

活動内容は、愛宕山を中心とした地域の森での森林整備、林床の植生調査、ヒメコマツの後継樹育成、間伐材を利用した木工品の製作、森林環境の大切さを伝えるための活動などに取り組んでいる。



発根に成功したヒメコマツの挿し木

活動開始	会員数	活動日・回数	主な活動場所	連絡先
平成22年～ (2010年～)	合計 10 名 (1年生2名, 2年生6名, 3 年生2名)	放課後や休日 等を利用して 活動	本校演習林 愛宕キャンパ ス	0439-27-2351 (渡邊英二)